

内装用

〈村檜の現代しゅくい〉推奨下地材

MKプラスター

内装下地処理材

ビニールクロス用

[特徴]

優れた施工性

特殊樹脂を使用した練りタイプであり、
施工性に優れる

ビニールクロスからの塗り替え

ビニールクロス下地から
〈村檜の現代しゅくい〉仕上げが可能

[適応下地]

ビニールクロス

[標準仕様]

名称	MKプラスター ビニールクロス用
正味重量	20kg/ 缶
標準施工面積	12.2m ²
標準塗り厚	約 1.0mm



日本建築仕上材工業会登録

登録番号	2008004
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/



創業安政元年
村檜石灰工業株式会社

練り方

材料が適当な粘度になるまで、3枚羽ミキサーを用いて攪拌します。ミキサーはペール缶底部までしっかりと押し込み、全体に満遍なく練りこんでください。
攪拌時間の目安は3分間です。



施工手順

- 1 クロス面に付いた埃は刷毛やブラシで落とします。汚れている箇所は中性洗剤で拭き掃除を行ってください。クロスにカビが発生している場合は、石膏ボードまでカビが及んでいる可能性が高いため施工できません。
また、ビニールクロスはある程度状態の良いことが前提です。可塑剤が抜けて劣化している(パリパリになっている)クロスには施工できません。
なお、ビニールクロス以外の布クロス・紙クロスのような吸水性のクロスは、接着不良を起こすので施工できません。

既存クロスでの施工が不可能な場合、石膏ボードを張替えることで新築仕様での施工が可能となります。

- 2 クロスに浮き、はがれのある箇所はカッターで除去し、補強のためグラスファイバーテープを貼ります。
- 3 クロスの継ぎ目へも、補強のためグラスファイバーテープを貼ります。
- 4 さらに下地強化のため、2、3で補強した箇所、およびビニールクロス周辺部へのステープル留めを推奨致します(ステープルはステンレス製または亜鉛メッキ製を使用してください)。
- 5 アク、シミの発生を防止するため、アク止めシーラーを全面に塗布します(アク止めシーラーを塗布しないと、アク、シミが出る場合があります)。

既存クロスにアク、シミがなければアク止めシーラー塗布の必要はありません。

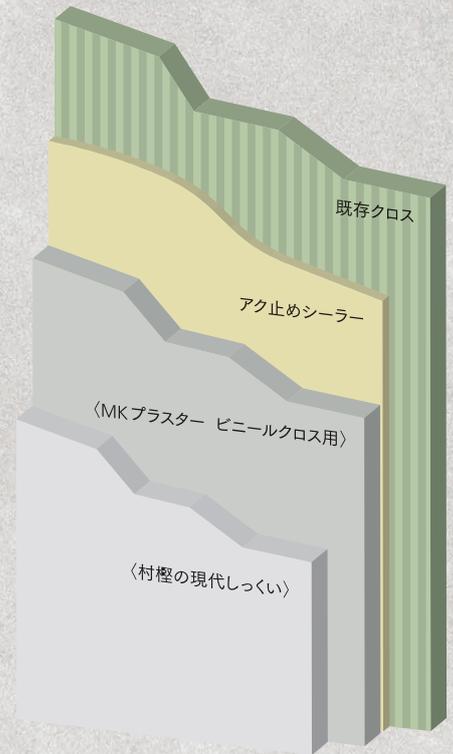
乾燥養生(しっかり乾燥させてから次の工程に進んでください)

- 6 <MK プラスター ビニールクロス用> 塗り付け
アク止めシーラーが完全乾燥後、<MK プラスター ビニールクロス用>を全面に塗り付け、鏝むらを取り平滑に仕上げます(塗り厚は1mm程度)。

乾燥養生(しっかり乾燥させてから次の工程に進んでください)

- 7 仕上げ塗り
<MK プラスター ビニールクロス用>が完全乾燥後、バリ(凸部)や塗り残しが無い事を確認してください。
<村檜の現代しっくい>を適量鏝板に取り、一度しごき塗り後、追っかけで所定の厚みに塗り付けます。

<村檜の現代しっくい>を塗り付け直後、塗膜に気泡が発生することがあります(クロス下地の場合、下地処理材に含まれる空気としっくいの水分が置換するため)。そのままにしますと仕上げに影響を及ぼしますので鏝で潰してください。



<使用上の注意>

- 施工後、気温5℃以下になる恐れがある場合は施工を避けてください。
- 直射日光の当たる場所、湿気の高いところでの保管は避けてください。
- 取り扱いの際は適切な保護具(ゴム手袋・保護メガネ・マスク等)を着用してください。



<応急処置>

- 目に入った場合……直ちに清浄な流水で洗浄し、速やかに医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合……直ちに清浄な水で口の中を洗浄し、速やかに医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合……直ちに清浄な流水で付着部分をよく洗浄し、ハンドクリームなどでケアしてください。

創業安政元年
村檜石灰工業株式会社

<特約代理店>

<建材事業部>

〒327-0509 栃木県佐野市宮下町1-10
tel 0283-86-3677 fax 0283-86-4118

kenzai@murakashi.co.jp <https://www.murakashi.co.jp>

